

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年2月27日(2020.2.27)

【公表番号】特表2019-506404(P2019-506404A)

【公表日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2019-009

【出願番号】特願2018-538625(P2018-538625)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/60 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 19/02 (2006.01)

A 2 3 L 33/10 (2016.01)

【F I】

A 6 1 K 8/60

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 19/02

A 2 3 L 33/10

【手続補正書】

【提出日】令和2年1月17日(2020.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

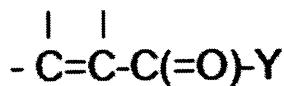
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2種類以上の化合物を含んでなる、化粧またはパーソナルケア美白組成物であつて、前記2種類以上の化合物のそれぞれが、下記の構造Iを有するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を含有し

【化1】



〔式中、

Yは、前記アリルまたは部分アリルカルボニル部分構造に直接隣接する第2の部分構造であり、かつ、

(i) -OHまたは-C(OH)=を含むヒドロキシルベース基；

(ii)エーテル基、-O-；

(iii)スルタム基、-N(H)-S(=O)₂-；

(iv)ラクタム基、-N(H)-C(=O)-；

(v)メントールまたはカロテノイドに基づく環式構造を含む無極性基；

(vi)-N(H)-C(NH₂)=N-または-N(H)-C(H)=N-を含む

第二級アルジミン含有基；

(vii)アミン基、-NH₂；

(viii)第二級アミンベース基、-N(H)-；および

(i ×) - N (H) - C (= O) - または - N (H) - C (= O) - N (H) - を含むアミドベース基

からなる群の 1 つから選択される] :

前記 2 種類以上の化合物それが異なる (i) ~ (i ×) の群、および / または下記で定義される、異なる (a) ~ (f) の部分群から選択される異なる Y 部分構造を有し：

(a) ヒドロキシリル基からなる第 2 の部分構造 Y に直接隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を有する - ピロン化合物およびその塩；

(b) スルタム環構造を形成するスルホンアミド基からなる第 2 の部分構造 Y に直接隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を含むスルタム化合物およびその塩；

(c) アミド基からなりラクタム構造を形成する第 2 の部分構造 Y に直接隣接するアリルカルボニル部分構造を含む二環式芳香族および複素環式 5 員環から構成されるインドール様化合物およびその塩；

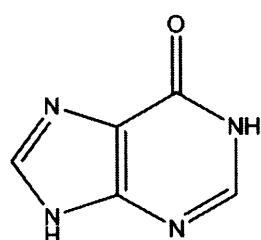
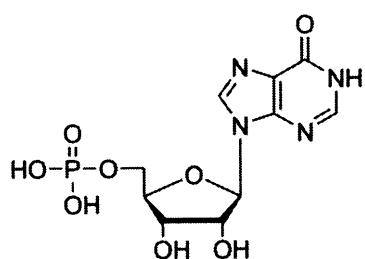
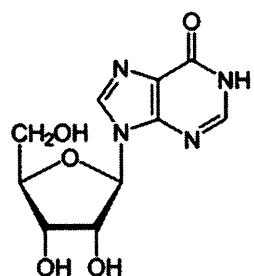
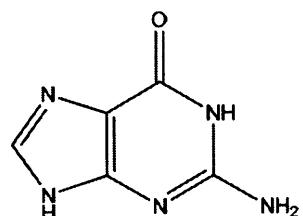
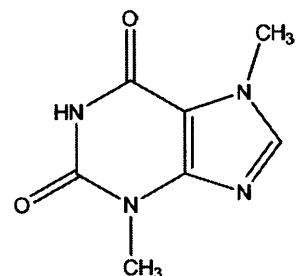
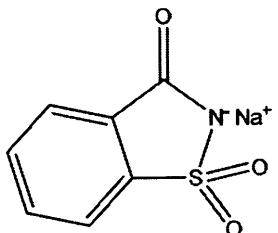
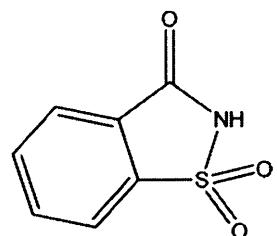
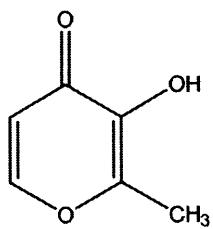
(d) 化合物をジアリルまたは部分的ジアリルにする第 2 の不飽和結合を含む第 2 の部分構造 Y に直接隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を有するシクロヘクス - 2 - エノン様化合物およびその塩；

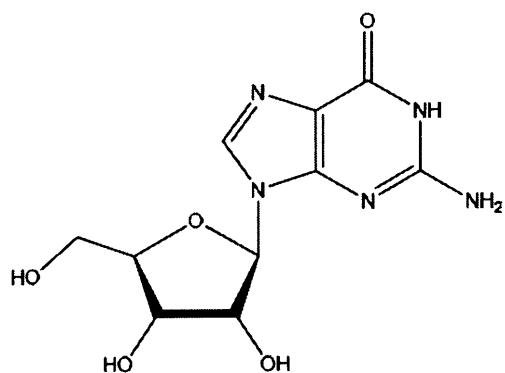
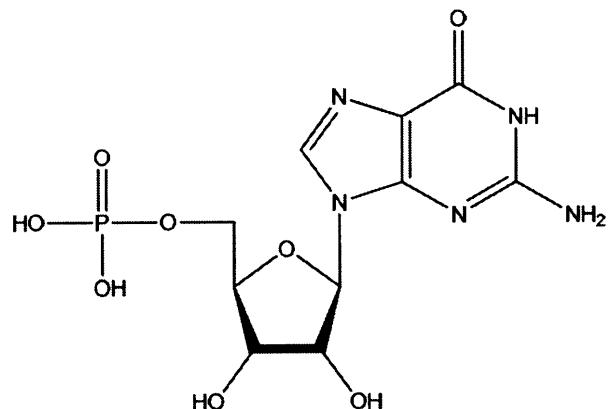
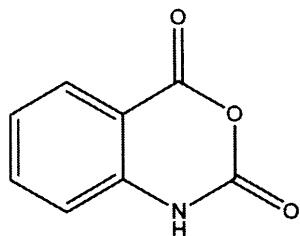
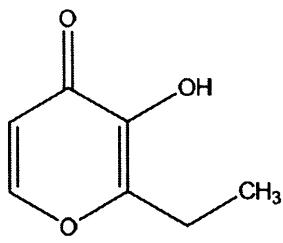
(e) 1 以上の第二級アルジミン基と 1 以上の第二級アミン基とからなる第 2 の部分構造 Y に隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を含む 5 員および 6 員ヘテロ二環式構造を有するアデニン様化合物およびその塩； および

(f) 第二級アミン基または N (H) - C (= O) - N (H) - 基からなる第 2 の部分構造 Y に直接隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を含むプリン様またはキサンチン様化合物およびその塩、

さらに、前記 2 種類以上の化合物が

【化 2】





およびそれらの誘導体、異性体、塩ならびに／またはそれらの組合せからなる群から選択される、組成物。

【請求項 2】

前記 2 種類以上の化合物がサッカリン、サッカリンナトリウム、マルトールおよびテオプロミンからなる群から選択される、請求項 1 に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 3】

サッカリンおよびマルトール、またはサッカリンナトリウムおよびマルトールを含んでなる、請求項 2 に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 4】

マルトールおよびテオプロミンを含んでなる、請求項 2 に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 5】

サッカリン、マルトールおよびテオプロミン、またはサッカリンナトリウム、マルトー

ルおよびテオブロミンを含んでなる、請求項 2 に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 6】

組成物の総重量に基づき 0.01 ~ 10 wt % の量でマルトールを含んでなる、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 7】

組成物の総重量に基づき 0.01 ~ 70 wt % の量でサッカリンまたはサッカリンナトリウムを含んでなる、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 8】

前記 2 種類以上の化合物のそれぞれが植物材料または酵母に由来する抽出物の形態で提供される、請求項 1 に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 9】

前記マルトールおよび / またはテオブロミンが植物材料または酵母に由来する抽出物の形態で提供される、請求項 2 に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 10】

前記 2 種類以上の化合物のヘテロダイマーを形成する亜鉛または銅陽イオンをさらに含んでなる、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 11】

美白が、内因性および / または UV 誘発性のメラニン形成の低減；メラニン形成代謝経路および / またはメラニン形成代謝経路の活性を制御する 1 以上のシグナル伝達経路の活性の低減；対象の皮膚のメラニン含量の低減；対象の、皮膚、色素斑、そばかす、しみおよび目の周りのくまの美白を含む、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 12】

2 種類以上の化合物が、組成物に配合された場合に抗菌特性および減粘特性を有する、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の化粧またはパーソナルケア美白組成物。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の組成物を含んでなる化粧品またはパーソナルケア製品。

【請求項 14】

美白のための美白剤として 使用するため の請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の化粧またはパーソナルケア組成物であって、前記美白が、内因性および / または UV 誘発性のメラニン形成の低減；メラニン形成代謝経路および / またはメラニン形成代謝経路の活性を制御する 1 以上のシグナル伝達経路の活性の低減；対象の皮膚のメラニン含量の低減；対象の、皮膚、色素斑、そばかす、しみおよび目の周りのくまの美白を含む、組成物。

【請求項 15】

美白のために、対象の皮膚に請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の化粧またはパーソナルケア組成物を有効量局所適用する工程を含んでなる、対象の美白化粧方法。

【請求項 16】

前記美白が、内因性および / または UV 誘発性のメラニン形成の低減、メラニン形成代謝経路および / またはメラニン形成代謝経路の活性を制御する 1 以上のシグナル伝達経路の活性の低減、対象の皮膚のメラニン含量の低減、ならびに対象の皮膚、色素斑、そばかす、しみおよび目の周りのくまの美白を含む、請求項 15 に記載の化粧方法。

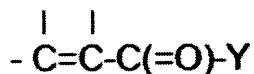
【請求項 17】

美白剤として使用するための組成物を決定する方法であって、

対象の皮膚のタイプを決定すること；

2 種類以上の化合物を選択することによりメラニン形成阻害活性を有する 2 種類以上の化合物を同定することであって、前記 2 種類以上の化合物のそれぞれが、下記の構造 I を有するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を含むこと：

【化3】



[式中、

Yは、前記アリルまたは部分アリルカルボニル部分構造に直接隣接する第2の部分構造であり、かつ、

- i) -OHまたは-C(=)-OHを含むヒドロキシルベース基；
- ii) エーテル基、-O-；
- iii) スルタム基、-N(H)-S(=O)₂-；
- iv) ラクタム基、-N(H)-C(=O)-；
- v) メントールまたはカロテノイドに基づく環式構造を含む無極性基；
- vi) -N(H)-C(NH₂)=N-または-N(H)-C(H)=N-を含む第二級アルジミン含有基；

vii) アミン基、-NH₂；

viii) 第二級アミンベース基、-N(H)-；および

ix) -N(H)-C(=O)-または-N(H)-C(=O)-N(H)-を含むアミドベース基

からなる群の1つから選択される]；および

同定された化合物を用い、決定された対象の皮膚のタイプに基づいて配合物を製造すること

を含んでなり、

前記2種類以上の化合物それが異なる(i)～(ix)の群、および/または下記で定義される、異なる(a)～(f)の部分群から選択される異なるY部分構造を有し：

(a) ヒドロキシル基からなる第2の部分構造Yに直接隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を有する-ピロン化合物およびその塩；

(b) スルタム環構造を形成するスルホンアミド基からなる第2の部分構造Yに直接隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を含むスルタム化合物およびその塩；

(c) アミド基からなりラクタム構造を形成する第2の部分構造Yに直接隣接するアリルカルボニル部分構造を含む二環式芳香族および複素環式5員環から構成されるインドール様化合物およびその塩；

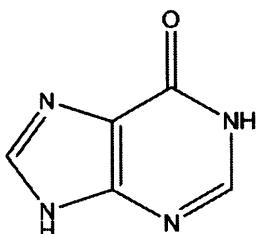
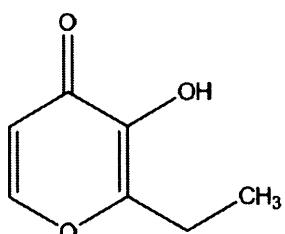
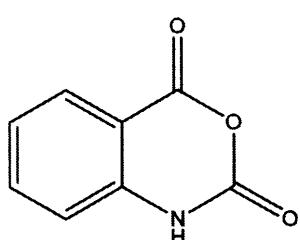
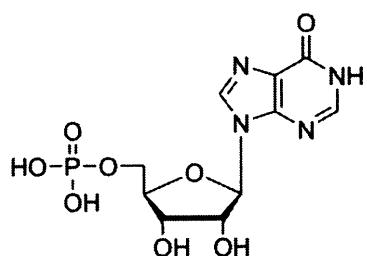
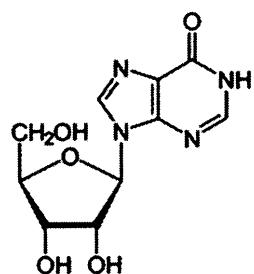
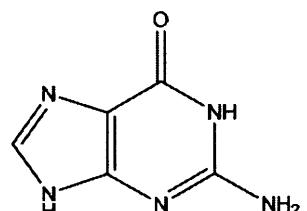
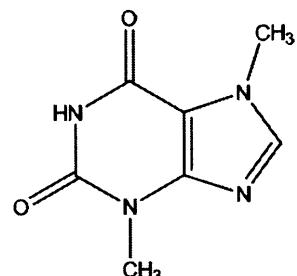
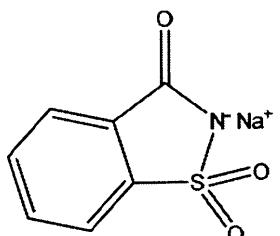
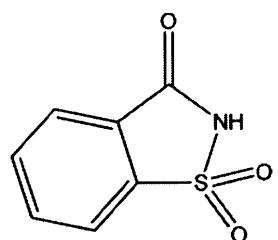
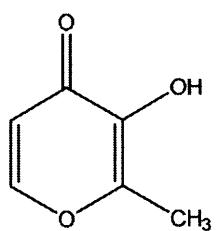
(d) 化合物をジアリルまたは部分的ジアリルにする第2の不飽和結合を含む第2の部分構造Yに直接隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を有するシクロヘクス-2-エノン様化合物およびその塩；

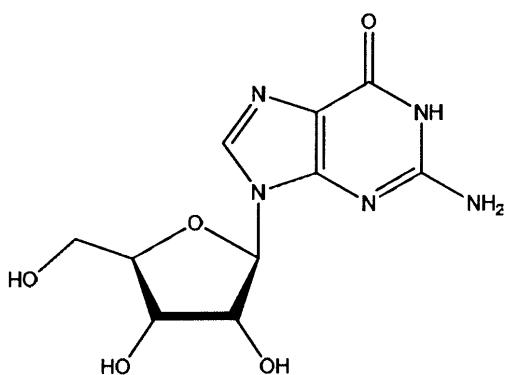
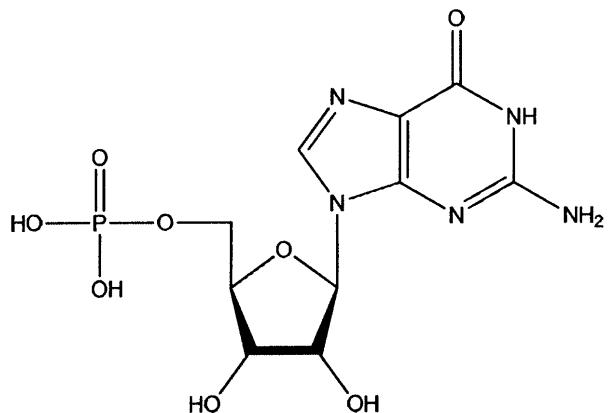
(e) 1以上の第二級アルジミン基と1以上の第二級アミン基とからなる第2の部分構造Yに隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を含む5員および6員ヘテロ二環式構造を有するアデニン様化合物およびその塩；および

(f) 第二級アミン基またはN(H)-C(=O)-N(H)-基からなる第2の部分構造Yに直接隣接するアリルまたは部分アリルカルボニル部分構造を含むプリン様またはキサンチン様化合物およびその塩、

さらに、前記2種類以上の化合物が

【化 4】





およびそれらの誘導体、異性体、塩ならびに／またはそれらの組合せからなる群から選択される、方法。